



「弓矢八幡」とも称される 当宮の災難解除・開運招福の靈験あらたかなおふだ



御神宝 御弓矢ノ絵図

古来、武士の道は「弓矢の道」とも称され武士達は弓技の鍛錬と武芸上達に励み、武の神である八幡大神様を篤く信仰してきました。

石清水八幡宮と弓矢の関わりはとても深く世に「弓矢八幡」とも称される程であります。鎌倉時代の国難でありました元寇においては亀山上皇が当宮にて異敵降伏を祈願され、その際「御本殿の御扉が闇夜に自然と開き、神矢が筑紫の方向に飛行、異賊を滅ぼし給ふた」と言い伝えられ、八幡大神様の御神威が今なお弓矢に象徴される所以であり、本殿内三座の御神前には御神宝として御弓矢が奉られています。





三座の御神前には御神宝として
御弓矢が奉られています。

弓矢には災難解除、邪気退散、開運招福の
霊徳があると云われ、平安の御代に八幡太郎
源義家が宮中の紫宸殿の殿上にて弓の弦打
ちを三度行えば、たちまちに堀河天皇の御病
気が快癒したとも伝わります。

弓矢の御霊徳によって邪気を祓い、運を開
かれますことは八幡大神様の御神意そのもの
であります。御神宝に因み調製されました「八
幡御神弓」を戴かれ、益々のご繁栄とご健勝
に過ごされますこと祈念致し謹んでお頒ち申
し上げます。

初穂料



八幡御神弓 7,000円



特別厄除御神矢 5,000円



八幡御神矢 3,000円



専用御弓矢置台 2,000円

